

大阪万博会場に ケイクリート製品

鴻池組

鴻池組（本社、大阪市中
央区、社長＝渡津弘己氏）
は、CO₂吸収コンクリー
ト「ケイクリートN」を、
大阪・関西万博の施設整備
事業に試行適用した。

同社は建設業におけるカ
ーボンニュートラルの实现
を目指し、副生成物中のカ
ルシウム源と排ガス由来の
CO₂を原料とするCCU
材料「Kca1」を開発。
カーバイドスラリーを原料
とし、軽質炭酸カルシウム
として粒子制御された材料
で、Kca1を混合した「ケ
イクリートN」は、CO₂を
間接的に固定する。製造時

従来のコンクリートと比較
して110%の削減を実現。
通常のコンクリート製造時
に1mあたり344kg排出
するCO₂を、マイナス36
kgとすることができる。
万博会場には、ケイコン
（本社、京都市伏見区淀本
町、社長＝荒川崇氏）と共
同開発した「ケイクリート
N」製のPCa製品を試行適
用した。

使用したのは境界プロッ
クとコンクリート平板で、
使用したコンクリート量は
4m²約1トンのKca1
を混合しており、排ガス由
来のCO₂約440kgを吸
着・固定した。



ケイクリートN打設状況
（ケイコン京都工場）

行適用を加速。建設分野に
おけるカーボンリサイクル
を目指す考えだ。

鴻池組はカーボンニュー
トラル実現に向けた取り組
みの一環として、公共事業
や民間建築分野での適用拡
大を視野に、CO₂吸収コ
ンクリート「ケイクリート
N」を用いたPCa製品の試
のサプライチェーン構築を